平成29年度事務事業実績評価表																
	業概要		***	小只口!	щ1Х					課名		農業課	事業No.		180	
										会計	一般会	会計				
	事務	事業名		強い	園芸産地育局				事	業区分		政策	実施区分		継続	
									開始			終了				
	主要区分		ì	主	記号	計画等名称										
					1	若者が帰って	若者が帰ってこられる産業をつくる									
	単	戦略計画														
根	١ ,				地域経済活	性化プログラ	<u> 42017</u>									
拠	分	分野別計画														
	 :± /	≻ . Æil±E	944													
	法令・例規等															
	<u> </u>				現 果樹、野菜、花卉等の生産農家											
3	事業目			家	果樹、野采	、化丹寺の生産	生農家									
-	 -			意図 生産体制の強化												
2 事業内容																
	取組内容							mt-r				の内容		事業費(千円)		
		,	作業の省力化や効率化並びに生産性の向上を図る						県茶振興協議会負担金 ************************************						65	
		菜の雨よけ施設やその他の農業施設の整備を支援しました。 また、野菜、果樹等の推奨品目の苗木の導入を支援すると							推奨品種苗木導入補助金 需要に応える園芸産地育成事業補助金						1,488 6,000	
						ロの田不の等/ に繋がるよう、			,							
		を支援		- /-	このジェル	, resky 0 %),	JQ-0-07 11-9	工域於例推進争業補助金 郷土野菜等振興事業補助金						276 0		
-	Ŧ度									市田柿生産振興補助金 10.						
取	.組	設備等	の整	備・導	算入を支援し	ました。特認生	生産者につい	10,070						10,540		
				忍定しました	•											
		長野県茶振興協議会に対する支援を行いました。														
		<u> </u>								その他の経費						
	12 押々			フ (米)	対値で表せる	単位	平成2	28年度	平成29年	年度	平成30年度	平成31年	度	平成32年度		
		1日信元			メル こならの	—	実	績	実績	į	実績	実績		実績		
	野菜・花卉苗木導入本数 本						10,105	11	,052							

		果樹苗木導入本数(市	田柿含む)		本	3,091	4,908			
活動指標	(千新北)	果樹・野菜等生産基盤	整備件数		件	28	14			
	/白里川1日代示	市田柿加工設備等整備係	件数		件	124	105			
		特認生産者認定数(累認	計)		人	51	55			
		土壌診断件数			件	623	551			
		予算額	20,965	特定財源内訳及び補足事項						
		決算額	18,169	(県)需要に応える園芸産地育成事業補助金(1/2)						
	29年度	国庫支出金	0	0 (そ)ふるさと寄附金						

 29年度 決算 (千円)
 財源の 状況
 国庫支出金 県支出金 地方債 その他
 0 6,000 1,000

11,169

- 般財源 3 事務事業を構成する予算科目

の取り組み

きます。

<u>3</u> ≢	扮手	美 を 傾	第000 9 6 7 2 月科日							
番号	会 計	款	項	目	大 事 業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	6	1	4	40	1	9,865	7,829	果樹・野菜等振興事業費	
2	1	6	1	4	40	2	11,100	10,340	市田柿振興事業費	
3										
4										
5										
6										
7										
振返	り課題	認識	果樹・野菜等の品質及び生産性の向上につなげるため、継続的に農業施設の整備や奨励品目の苗木の導入等の支援を行っていく必要があります。市田柿の産地として継続的に生産農家の育成や支援に取り組み、更なる品質及び生産性の向上に取り組んでいく必要があります。							
	上記の課題解決 のための有効策 果樹・野菜等については、国・県の補助事業を有効活用するとともに、生産団体等と連携し農業施設の整備や奨励品目の世 木の導入等の支援を行っていく必要があります。市田柿については、特認生産者の認定及び育成を行うとともに、生産者に対する加工設備等の導入支援を行っていく必要があります。									
次年	度に向	けて	果樹	・野芽	を等の	品質及	 みび生産性の向上	 こにつなげるため	o、補助事業の内容等を見直し、生産団体等と連携して支援を行ってい	